

①テーマ

高齢者との住居シェアマッチングサービス

②アイデアのイメージ

課題点

- ・独居老人が多い
↓
認知症や孤独死につながってしまう！！
- ・熱田区から出て行ってしまう人が多い
・使える土地が限られている
↓
新しく施設を建設することができない
・高齢者が社会参画に積極的でない

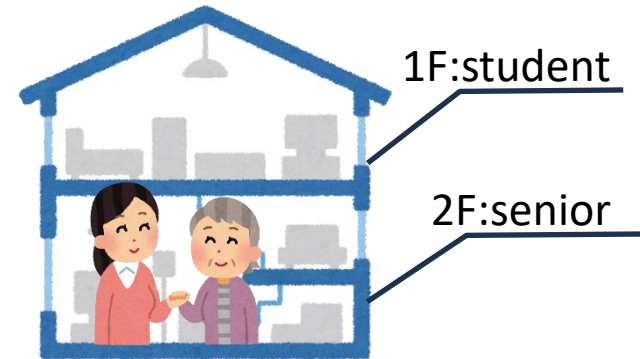


誰かがそばにいないと
状況を知ることすら
できない...

課題解決案

**・一人で暮らす高齢者の家の一部を
学生(若年層)に提供して一緒に
暮らす仕組みを作る**

- ①熱田区に住みたい学生と一人暮らしする高齢者を
つなげるマッチングサービス(簡単な登録だけにする)をつくる。
- ②お互いの同意が得られたら同居ができるまで支援。
- ③お互いが心地よく暮らせるようカウンセリング(カウンセ
ラーは学生)などを通して見守っていく。



自治体との協力も通して参
加者を把握・登録
を促す

引っ越し業者の手配
両社関係者への説明

アンケートや相談を積極的
に行い、アフターケア

**・高齢者と学生が交流できる
イベントを開催**

- ・料理教室
- ・熱田区ウォーキング
- ・カラオケ大会 など



③アイデアの特徴・メリット

学生側	高齢者側
立地の良い所で暮らせる→有効に時間を使うことができる	学生から日常に刺激をもらえる→社会参加への興味につながる可能性
アパートを借りるよりも安い	認知症予防 孤独死防止 犯罪被害減少
社交力が上がる	家賃収入を得られる

熱田区には独居老人が多いという点から、身近な場所で人とかがわれる機会を作りたいと思ったのがこの解決案である。ともに住むことで生活を支えあうことができるほか、熱田区から他の場所に移り住む人を減らすこともできる。大学生の私たちが学校に行くだけに熱田区にきているという関わりの薄さは、熱田区を改善していくにあたってよくないことである。この仕組みなら熱田区に滞在する時間を増やすことができるため、より熱田区のことを知る機会を作ることができる。ただ、双方の納得がえられるかが難しい点である。健康面から防犯被害まで対策ができる。

提出者

経営

学部

担当

先生

学籍番号／氏名

①テーマ

防災謎解きゲーム

～これであなたも防災探偵！？～

②アイデアのイメージ

問題点

- ・高齢者が多い
- ・南海トラフ地震への心配



子供からお年寄りでも楽しめて、災害について学べるものはないか…？



解決策

①防災に関する謎解きをしてキーワードが書いてあるスポットを探し出す



②熱田区内を歩いてそのスポットまで行く



③キーワードを探し出しそこにいる名學生と簡単なミニゲームをして勝ったらキーワードGet！



④キーワードを使い暗号を解くことができれば景品プレゼント！



Point1

地域のいろんな人と関われるようにランダムに決めたグループで行う



Point2

VRゴーグルを何台か用意し外を歩いて回るのが難しい人も参加できるようにする！もちろんリモート参加もOK！！



メリット

- ・頭と体の体操になる
- ・世代間での交流ができる
- ・楽しく防災知識について学ぶことができる



③アイデアの特徴・メリット

私は熱田区には、高齢者が多いという所と南海トラフ地震が起きた時に大きな被害を受けるという所に注目しました。この防災謎解きゲームの最大のメリットは小さな子供から高齢者まで楽しめて、市民の防災意識を高めることができるという所です。熱田区にはひとり暮らし高齢者も多いため人との関わりが減ったり、運動不足になっている人も多いと思います。そこで1つ目の工夫として謎解きゲームをグループを組んで解くことによって世代間を超えた関わりを作ることができ、歩いて回るため運動不足解消にも繋がります。2つ目の工夫は、外を歩いて回ることが難しい人のためにリモート参加できるようにすることです。歩いて回るとなると、難しい人でもVRを使ったり、AIを使うことで簡単に参加できます。こうして世代間を超えた関わりを作ることによって、なにかあった時に連携が取りやすくなり、何より地域で知り合いが増えると楽しいと思います。楽しみは人の生きがいのなるし、笑顔が増えれば町は活性化するのでそのきっかけになればいいなと思いこのアイデアを提案しました。

①テーマ

高齢化に合わせた公園づくり

②アイデアのイメージ

公園と言ったら？
みんなの憩いの場

しかし問題点が...

公園には**たくさんの遊具**があるが、そのほとんどが**子供向け**であり、**大人は歩道を走る運動**くらいしかできない...

公園利用者の年齢層を調べた結果

お年寄りの利用者が多い

③アイデアの特徴・メリット

公園は**みんなの憩いの場**であるにもかかわらず「**公園＝子供の遊び場**」になっている。**少子化**に合わせるのではなく**高齢化(お年寄り)**に合わせる公園づくりが必要である。走ることは健康的な行為であるが、そこにコミュニケーションは生まれない。**健康器具を導入**することや**学生主体の活動**をすることで町の話題性も上がり人が増えることで**コミュニケーション**が増えることが期待できる。今後高齢者が増加することが予想できるので、早い段階で導入することで**未来への投資**になると考える。広い敷地の公園が多くある**熱田**だからこそできる取り組みだろう。

解決策①

健康器具の導入

公園に行く目的を作るためにも健康器具の導入を推奨したい。健康器具は老若男女問わず使うことができるので遊具の一部として設置が可能。
走ることが難しい方が楽しく効果的に運動することができ、運動不足の解消に繋がる。

解決策②

学生主体のラジオ体操の実施

学生と地域の繋がりを深める活動としてラジオ体操活動を例として挙げる。
公園を利用している高齢者の孫の年齢は私たちくらいの年齢層なので孫と一緒にラジオ体操ができる感覚で楽しく体を動かす機会が作れる。足腰の悪い方も気軽に運動することができる。



お年寄りの
ニーズに
合った公園
を作る必要
がある！！

